

2025.6.17

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 今年の梅雨は？夏は？

梅雨の季節に入りました。梅雨には陽性と陰性があって、今年は陽性型だそうです。「陽性型の梅雨」は、雨が降る時は短時間に激しい雨が降ったと思ったら、晴れる日は気温が急激に上がり体に堪える暑さになる、いわばスコールのような雨が繰り返す起るものです。

今年の梅雨の傾向は、ザーッと激しい雨が降り、梅雨の晴れ間は厳しい暑さになる「メリハリ型(陽性)」の梅雨になる見込みと発表されました。まだ暑さに慣れないうちに猛暑がやってくるので、我々大人でも体調を崩してしまいます。特に梅雨のこの時期は湿度が高いため、かいた汗が蒸発しにくく、体に熱がこもりやすくなります。寝苦しい夜が増えてくるので、昼夜問わず熱中症に警戒しましょう。お子さんに関する熱中症対策について抜粋してお知らせします。

①こまめに水分補給をする: 子供は汗をかきやすく、脱水症状になりやすいので、のどが渇く前に水分を与えましょう。

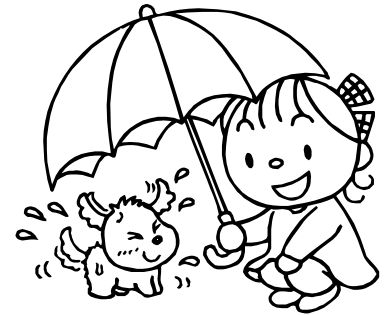
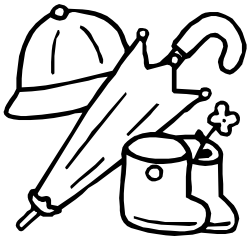
②服装を調節する: 通気性の良い薄い色の衣服を選び、日差しを遮る帽子をかぶせることが大切です。

③しっかり睡眠をとる: 十分な睡眠を確保することで、体調を整え、熱中症のリスクを減らします。

④冷たいものを食べすぎない: 冷たい飲み物や食べ物は一時的に涼しさを感じさせますが、体温調節に影響を与えることがあります。

⑤朝食は必ず食べる: 朝食をしっかりとることで、体のエネルギーを補給し、熱中症のリスクを減らします。

周囲の大人が子供の様子を注意深く観察し、適切な対策を講じることが大切です。幼稚園でも子どもたちの様子を常に観察し、熱中症対策を心がけます。



### 子どもをつぶす NG ワード

先日、某大手の葬儀会社の代表の方の講演会に参加しました。その方は職業柄、命と向き合っているため、「命のつながり」や「生きていることの奇跡」を実感され、命の授業を子どもたちに伝えているそうです。以前にも「めばえ」に書きましたが、子どもの幸福度ランキング第1位は「オランダ」です。宿題や入試制度がなく、12歳になると全員テストを受け、大学に進学して学者や専門職(医師や教師等)を目指すか、高校卒業後は技術者としての道へ進むかなど、日本の中学校ぐらいから将来の目標を持ち、様々な職業の知識を学校で学んでいくのです。教育理念は「自分自身をよく知り、自信を持ち、肯定感を持つ子ども」で、個々に合わせた学習を進めていました。

ところが日本の子どもの幸福度は、先進国の中で特に精神的幸福度が低いことが明らかになっています。具体的には、精神的幸福度の指標として「生活満足度が高い15歳の割合」や「15~19歳の自殺率」が用いられています。日本では、生活満足度が高いと答えた子供の割合が62%である一方、自殺率は非常に高く、特に15~19歳の自殺率は4番目に高いという厳しい現実があります。さらに日本の教育システムは、学力重視の傾向が強く、これが子供の自己肯定感に影響を与えており、学力が低いと自己肯定感が下がる傾向があり、これが精神的な問題を引き起こす要因となっています。

葬儀会社の代表の方は「日本の子どもをもっと幸せにしたい」と全国で講演を行って見えます。その方から「子どもをつぶす NG ワード」を伺いました。

『①過度な期待をする ②比較する ③否定的な言葉を投げかける ④結果だけを重視する』の4つです。親にしてみれば、子どもの将来を心配して投げかける言葉が、心の負担になってまうと思うと複雑な気持ちです。

先日、この話を先生たちにも伝え、子どもたちへの対応を話し合いました。子どもたちが肯定感を持って、伸び伸びと育つよう見守っていこうと思います。

